

令和3年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

技術・家庭

10

京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	技術・家庭（技術分野）
-------	-------------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
教育図書(株)	6	教 図	New技術・家庭 技術分野 明日を創造する New技術・家庭 技術分野 明日を創造する技術ハンドブック
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

教科書種目	技術・家庭（家庭分野）
-------	-------------

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
教育図書(株)	6	教 図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭 (技術分野)	2	東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology

項目	項目毎の調査研究結果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・各編が「技術の原理・法則と仕組み」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成され、実践的・体験的な活動を通して技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質能力を育成できるようになっている。 ・教科の目標を達成できるよう工夫されている。生徒の発達段階に合わせて、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。 ・学習指導要領の内容及び内容の取り扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に必要な基礎的な技能を「TECH Lab」にまとめ、問題解決に活用できやすく配置している。 ・生徒自身で問題解決に迫れるよう、プロセスごとに「問題解決カード」を示し、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ・学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。 ・「話し合ってみよう」といった始めの活動を充実させ、話し合う能力を高めようとしている。 ・「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒への注意を喚起している。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の分量は適切であり、各内容の分量は、時数、学期、学年配分から見て、偏りがなく適切である。 ・「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」の4編が適切に分配されている。 ・各章・節の内容は、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクター「ミカタン」のせりふは、主体的・対話的で深い学びになるように、技術の見方・考え方のストーリー性のある授業展開が工夫されている。 ・本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成になっている。また、指導計画等に応じて活用できるよう、図表などの資料が充実している。 ・発展的な学習内容はなく、基礎的・基本的な学習内容のみで構成されている。 ・教科書にDマークがあるところでは、インターネットを活用した学習ができる。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・書体を判別しやすく、読み間違えないように開発されたユニバーサルデザインフォント(UD書体)を用いている。 ・色覚特性のある生徒への配慮として、カラーユニバーサルデザインの観点で配色とデザインが工夫されている。 ・印刷は文字の欠けやかすれがなく、写真がより鮮明に表現されている。 ・再生紙や植物油インキを使用するとともに、製本の接着剤についても、環境に配慮されたものが用いられている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、内容の裏付けとなる図などを掲載し、科学的な思考に基づく知識が習得できるようになっている。 ・問題解決的な学習の一連の問題解決のプロセスをガイダンスで説明し、2章においてこのプロセスに沿った構成になるように工夫されている。 ・「技術の最適化」について、興味関心を持って、わかりやすく考えることができるように、親しみやすい漫画で表現している。 ・多様な「問題解決例」を数多く取り上げ、座学と実習のバランスを考慮しながら学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。 ・各編の導入において、身の回りの製品や社会における技術の最適化について取り上げ、技術の見方・考え方によって、既存の技術の工夫を読み取ることができるように工夫されている。 ・「技術の匠」では、製品の開発者や技術者など、技術分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ・生徒自身の問題解決に導くために、「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価、改善、修正」の流れを統一的に示すとともに、「問題解決カード」としてワークシート例が掲載されている。 ・「技術分野の学習を終えて」では、「地球環境や将来の世代のための技術」として、技術が人や社会、環境と関わりながら、生活や社会をよりよくするために発展し続けることが伝えられている。
-------------------	--

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭 (技術分野)	6	教図	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する

項目	項目毎の調査研究結果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じて技術の見方・考え方を、関心の喚起から技術の活用へと育まれるよう工夫されている。 ・発達段階に応じた実習題材が配置されており、実習題材に取り組みながら、「技術の見方・考え方」が育まれる学び方を意識した構成になっている。 ・各章が「つくって学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」と3構成からなり、目標の3つの柱を考え、指導と評価が行える。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の3ステップで構成し、課題を見つけ解決しふり返りをする問題解決的な学習を行いやすい構成になっている。 ・学習の項目ごとに他教科や小学校との学習の関連を図りながら、学習が進められるよう配慮されている。 ・「やってみよう」では、技術について調べたり、考えたりする活動を通して、主体的で対話的な学びができるよう配慮されている。 ・製作・育成・制作では、個々が問題発見から解決までをできるように配慮されている。 ・「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、配慮をしている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・全体は、A B C Dの4つの編から構成され、時数、学期、学年配分から見て、偏りがなく、適切である。 ・各内容の分量は、特定の事項に偏ることなく、授業時数、学期、学年配分などから見て調和がとれている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・製作物・製作過程などの写真が細部まで鮮明に印刷されていて、完成品のイメージができやすく、作業中に参照したりすることに適している。 ・二次元コードを実習題材や別冊の各ページに付することで、動画などを閲覧して学習を深め、理解をより確かなものにする工夫がされている。 ・発展的な内容が一目でわかるように2ページにわたって掲載され、「発展マーク」で明示されている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷は明るく目に優しい色使いで生徒の負担にならず、読みやすい。 ・実習作業の写真を中心に、写真を大きく鮮明に掲載している。文字サイズを大きくし、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・環境に配慮し、印刷には植物性インキを使用し、裏表紙に明記している。 ・接着にはPUR（ポリウレタンリアクティブ）という接着力の高い接着剤を使用し3年間の使用に耐えられるよう丈夫に作られている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能が参照できる別冊の「技術ハンドブック」があり、基礎的な技能がすぐに参照できるようになっている。 ・実習題材に取り組みながら、「技術の見方・考え方」が育まれる学び方を意識した構成になっている。 ・実践的・体験的な学習活動において、別冊ハンドブックを活用することで、実践に役立つ知識・技能の習得ができるようにしている。 ・技術に関する施設の見学や社会で活躍する方を紹介することで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮されている。 ・「スゴ技」や「技ビト」のコラムを取り上げることで、生活や社会の中で使用される技術について興味・関心をもてるよう配慮されている。 ・各編の2章の「学ぶ」では、各編の設計・計画について2～4見開きほど設けて、設計・計画の流れを各編共通で4ステップにまとめることで、生徒が問題解決できる力を確実に養えるよう配慮されている。 ・各編の3章を中心に、自然環境の維持や持続可能な社会の構築に関する配慮がされている。Society5.0の特集を載せることで、情報社会に続く未来の社会像について生徒が考えることができるよう配慮されている。 ・生命の尊重や環境の保全に係る内容には、「環境マーク」を付けて強調し、生徒の意識や関心を高めるように配慮されている。
-------------------	---

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭 (技術分野)	9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

項目	項目毎の調査研究結果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会にある事物を、「気づく」「はたらかせる」「定着させる」活動を通して技術の視点でものごとを考えることができるように工夫されている。 ・実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身に付けることができるように工夫されている。 ・生徒の生活経験や発達段階を考慮して範囲や程度が定められている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と技能を活用して問題解決する力を身につけることができるように各実習の流れの中で思考力・判断力・表現力が高まるよう工夫されている。 ・基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されており、各内容の終わりには「学習を振り返ろう」が設定され、文章によって表現できるようになっている。 ・各内容は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。 ・安全・防災の意識を高めるために随所に効果的なマークが使われている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数や多様な指導計画などに適応できるよう考慮され、時数、学期、学年配分から見て、偏りがなく適切である。 ・特定の事項・事象・分野などに偏ることなく、全体として調和がとれている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びができるよう、教科書に QR コードを付け、動画や PDF 形式の資料が参照できるようになっている。 ・マークやキャラクターは、生徒が関心・意欲を持って主体的に楽しく学習を進めるのに、効果的である。 ・生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「発展」マークを付け、本文と関連付けて無理なく配置されている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・色が見分けやすいカラーユニバーサルデザインの視点から編集されている。 ・1字ずつが認識しやすく読みやすい UD フォントを全面的に使用し、内容に応じて適切な大きさに使い分けている。 ・ページを開いたままにできるような造本になっている。 ・用紙は薄くて丈夫な上に軽量化され、環境・資源に配慮した材料が使われている。 ・環境に配慮したインキが使われている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能を問題解決の土台とし技術の「見方・考え方」に気づき基礎的・基本的な知識技能を身につけられるよう工夫されている。 ・社会から学び、学んだことが社会につながる学習を、トレードオフを考慮し技術の最適化に挑むことで身につけることができるように工夫されている。 ・実習例は、基本となる実習から参考・応用的なものまで、男女生徒がいずれも関心と意欲をもって取り組めるような多様な例が扱われている。 ・技術に関する進路や職業に関する話題を取り上げることで、自ら技術との関わりについて考えながら職業観を育み、勤労を重んずる態度を養えるようになっている。 ・生徒の目が地域に向くように、地域の技術について取り上げた写真や話題などを豊富に使用している。 ・各内容の最後では、社会や環境と技術のかかわり方についての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断・評価し、主体的に活用しようとする態度が育めるようになっている。 ・各内容の出口では、これからの技術について考えさせられるような話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識を持てるように工夫している。 ・学習活動や生活の中で環境や共生を大切にする実践的態度が身に付くよう、各内容の最後に細かい配慮がされている。
-------------------	---

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭 (家庭分野)	2	東書	新しい技術・家庭科 家庭分野 自立と共生を目指して

項目		項目毎の調査研究結果
各教科 共通 の 選 定 の 観 点	1 内容の 範囲及び程 度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領(技術・家庭科)で示された「教科・分野の目標及び内容」、「指導計画の作成と内容の取扱い」に準拠し必要かつ十分な内容を適切に扱っている。 ・学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を積んで丁寧に記述されている。
	2 内容に 関する配慮 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各編は、「編の導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」の構成で統一され実習例や資料はその構成の中で適切に取り上げられている。 ・「課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦」といったプロセスを丁寧に説明するとともに、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・各章・節の内容は、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されている。 ・衣食住生活、消費生活と環境、成長と家族・地域の課題と実践の順で、教科書の配列が「自立から共生」のストーリーになるように工夫されている。各内容の分量は、時数、学期、学年配分等から見て偏りがなく適切である。
	4 使用上 の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びになるように、技術の見方・考え方のストーリー性のある授業展開が工夫されている。 ・小学校での学習を踏まえ、中学校で学習することを概観できるように工夫され、高等学校への円滑な接続ができるよう配慮されている。 ・実物大の写真やイラスト、図表の配分もよく、各分野との関連を持たせるようになっている。また他教科との関連も示され学習が深められるようになっている。必要に応じて、学習できる発展的な内容には「発展」マークがついている。
	5 印刷・製 本等	<ul style="list-style-type: none"> ・書体を判別しやすく、読み間違えないように開発されたユニバーサルデザインフォント(UD書体)を用いている。 ・色覚特性のある生徒への配慮として、カラーユニバーサルデザインの観点で配色とデザインが工夫されている。 ・印刷は文字の欠けやかすれがなく、写真が鮮明になっている。3年間の使用に耐えられるように堅牢であり、表紙は防水効果や強度が高まっている。再生紙や植物油インキを使用するとともに製本の接着剤についても、環境に配慮されたものが用いられている。

<p>教科ごとの選定の 観点</p>	<p>A、家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドランスとの関連を図り、家族や高齢者・地域との関わり方を工夫するような構成でストーリー性を持たせている。 ・幼児や高齢者に関する内容が2年生後半から3年生での履修を想定し、編や節の内容を教科書の後半に位置づけるなど実態に合った構成になっている。 <p>B、衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択と手入れを学習後に、生活を豊かにするものを作る「生活を豊かにするために」の流れで構成されている。 ・住まいの役割と安全な住まい方を系統的に学び地域・社会との持続可能な住生活を学ぶ流れで構成されている。 ・蒸す調理法が加えられ、蒸し野菜の例等が加えられた。和食、地域の食材郷土料理を写真で紹介するなど日本や郷土の文化を大切に育むような内容になっている。日本の文様や地域の衣文化、和服に関する内容を写真で紹介し、日本の文化を大切にする心を育むように配慮され、「伝統マーク」がついている。 <p>C、消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入方法と支払い方法、計画的な金銭の管理、消費者トラブル、消費者の権利と責任、環境に配慮した消費生活の流れで構成されている。 ・省エネルギーや3R、エシカル消費などの内容は、衣食住の学習内容との関連を図り、相互に学習が深められるように工夫されている。
------------------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
技術・家庭 (家庭分野)	6	教図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・育成すべき資質・能力の三つの柱を意識した構成で、家庭分野の見方・考え方を養いながら生活をよりよく創造していく力を育めるよう工夫されている。 ・学習指導要領に沿った構成になっており、知識・技能を身につけるようにできている。生徒の発達段階に合わせて取り組めるように配慮している。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを「見つめる」「学ぶ」「振り返る」の流れに沿って学習しやすくなっており、生活をよりよく創造しようとする主体的に学習に取り組む態度を育てることができるようになっている。 ・実習題材は基礎技能の練習ができる題材から問題解決的な題材へと、系統的に配列され生徒の発達段階にあわせて取り組める。 ・問題解決的な学習手順に沿ってくり返し取り上げ、課題を解決する力を養うように配慮されている。「問題の発見→課題設定→計画→評価→改善→次の課題」というプロセスで成り立っている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の配列が、家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境、生活の課題と実践の順に配列されている。各内容の分量、時数、学期、学年配分等からみて、偏りなく適切である。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・実習については手順が明確で、問題解決しやすく構成されている。 ・QRコードをスマホやタブレットで読み込むと動画で確認できる。 ・活動例や図解がわかりやすく提示されており、身近で視覚的な資料も充実している。 ・問題解決的な学習の仕掛けが仕組まれている。 ・基礎的・基本的な知識や技能の習得を補うために、折り込みページを利用し原寸大の写真を掲載している。他教科や他分野との関連をリンクマークを使って示している。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・色遣いやフォント、余白のバランス、図の見やすさなどが工夫され、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・印刷は鮮明で、明るく目に優しい色遣いになっている。 ・3年間の使用に耐えられるよう表紙は防水加工がされている。 ・紙は軽くて持ち運びやすいようになっているとされており、裏移りのないものが採用されている。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<p>A、家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びや実践的・体験的な活動を通して知識や技能が適切に身につけられるようになっている。 ・幼児の成長の様子がよくわかる写真や、地域の高齢者と共同するための資料が掲載されている。 <p>B、衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を、手順に沿って繰り返し取り上げ、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うことができるようになっている。 ・蒸す調理が加えられ、フライパンによる蒸し料理も掲載されている。衣食住の生活について、日本の伝統文化を取り上げ、継承していくことの大切さに気づけるよう配慮されている。伝統文化マーク等も記載されている。 <p>C、消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な金銭管理を入れ、クレジットカードやキャッシュレス化など、生徒が近い将来経験する消費生活について、興味・関心がもてるようにしている。 ・持続可能な社会への関心と理解が深まるように工夫されている。環境に配慮した消費生活や環境保全に寄与する態度を養うようになっている。
-------------------	--

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
技術・家庭 (家庭分野)	9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みに係る見方・考え方の観点をいつも確認しながら、それぞれの題材の中で、実践的・体験的な活動を通してよりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力が育まれる構成になっている。 ・学習指導要領の内容ABCを関連づけて学習できるように工夫して構成されている。無理なく基礎・基本を押さえた学習ができるように配慮されている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の3つの内容を関連付けて学習できるように工夫して構成され、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるように適切に配慮されている。 ・全ての内容を問題解決的な学習の流れで構成している。「学びを生かそう」や「生活の課題と実践」では、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップを統一している。各内容項目で、基礎・基本習得から応用発展的学習へと系統的に展開されている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の配列が家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境、生活の課題と実践の順に配列されている。各内容の分量、時数、学期、学年配分等からみて偏りなく適切である。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの見開きの中に、本時の学習の目標や、学習活動、学習の最後までが一覧でき見通しが持てるようになっている。 ・主体的・対話的で深い学びができるよう、教科書にQRコードを付け、動画やPDF形式の資料が参照できるようになっている。 ・発展的な学習内容には「発展マーク」が付され明確になっている。 ・参考や探求、発展、またイラスト写真などで、多彩な事例を示し、幅広い教養が身につくように工夫されている。また、他教科との関連も示されている。生徒の興味・関心に応じられるように「リンクマーク」を付け本文と関連づけている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーバリアフリーに配慮し、できるだけ多くの人に見分けやすい配色を選び、色を見分けにくい人にも情報が伝わるよう配慮されている。 ・文章の意味がつかみやすいように、1つの単語が行をまたがないようにしている。 ・本文は見やすく読み間違えにくいUD（ユニバーサルデザイン）フォントを採用している。 ・印刷は鮮明でカラー効果が生かされている。再生紙を使用すると共に、植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。製本は堅牢、表紙には水に強い加工が施され、長期の使用に耐えうるものとなっている。

<p>教科ごとの選定の 観点</p>	<p>A、家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について、仕事や社会の仕組みなどを通して、理解が深められるようになっている。 ・家族や家庭生活と地域の人々との関わりを考え、家族と家庭生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養うために題材の配置が工夫されている。 ・地域や高齢者とよくかかわり、共同するための資料やワークを多数掲載している。幼児の成長の様子がよくうかがえる写真も多く掲載されている。 <p>B、衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から問題を見出し、課題を設定することができるようにヒントを提示し、主体的に様々な解決方法を考える手立てが示されている。 ・実践し、実践を評価・改善して考えを発表するためのいろいろな手法を用いて、主体的・対話的・深い学びを通して課題を解決する能力が養うことができる。 ・蒸す調理法が加えられ、蒸し野菜の例等が加えられた。地域の食文化について、「和食の特徴」にもふれ、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されている。衣食住の各内容で「伝統マーク」があり、わかりやすく示されている。 <p>C、消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育として基本的に共通することを取り扱っている。また、他の学習内容と関連づけている。消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって活動できるようになっている。 ・環境教育につながる題材を充実させ、環境保全に寄与する態度が身につくように工夫されている。
------------------------	---